

知財を武器に！多角的な知財活用支援 【INPIT 静岡県知財総合支援窓口】

企業情報

デザインパーツ株式会社

所在地	静岡県富士市		
ホームページ URL	http://www.designpart.co.jp/		
設立年	2007 年	業 種	製造業
従業員数	22 人	資本金	3000 万円

企業紹介

当社は金属加工会社で、アルミ、鉄、銅、チタン、マグネシウム等様々な素材で、MotoGP 車両用部品の様な非常に高度な技術を求められる部品から、普通乗用車やオートバイ、船舶、医療用機器、アルミダイカスト用部品、炭素繊維系金型まで幅広い分野の試作/製品加工をお請けしております。また、社員とお客様にとってのドリームファクトリーを目指し、その礎となる「技術の研鑽」「人間力の育成」に力を注いでおります。

相談のきっかけ

2018 年に金融機関のご紹介でレーシングカート用パーツのご相談をいただきましたのを契機に知財の重要性を認識いただけました。

支援概要

その後、新たなる開発品が出来る度にご相談いただき、社内に担当者を選任しました。先行技術調査方法、願書の作成方法等についても学んでいただきました。専門家（弁理士）支援も受けていただき、特許 2 件、意匠 2 件、商標 1 件を出願し、現状、意匠 2 件と商標 1 件は権利化を達成されています。

支援成果

同社で意匠登録出願されたマシニングセンター用の「機内洗浄ノズル」は意匠権登録されると共に、事業化にも成功しました。高い技術力があったからこそ実現できた製品であり、知財で保護し、すでに大手企業の工場にも採用されています。また、特許権を取得した「振動抑制ボルト」もメディアに取り上げられ、多くの企業の注目を集めています。社内での知財人材育成/営業ツールとしての知財権活用にも積極的に取り組まれており、知財を意識した経営を推進いただいています。



振動抑制ボルト

企業コメント

知財総合支援窓口を利用したことで、商標を活かしたブランディングの重要性と、知財戦略が企業価値向上に活かせることを知ることが出来ました。技術の向上と知財戦略を組み合わせることで、企業価値をさらに高められるよう、今後も取り組んでいこうと考えています。

窓口担当者コメント（氏名：中村宏之）



経営者の知財活用にかける思いと、それに応えようと努力する社員の皆さんの熱意は素晴らしいと思います。自社ブランド品の拡充を見据え、さらなる成長に知財を活用いただくことを期待しています。

知財を武器に！多角的な知財活用支援【デザインパーツ株式会社】

金属加工会社で、アルミ、鉄、銅、チタン、マグネシウム等様々な素材で、MotoGP車両用部品の様な非常に高度な技術を求められる部品から、普通乗用車やオートバイ、船舶、医療用機器、アルミダイキャスト用部品、炭素繊維系金型まで幅広い分野の試作/製品加工を製造している。



振動抑制ボルト

相談のきっかけ

2018年に金融機関の紹介で窓口がレーシングカート用パーツの相談を受けたことを契機として、知財の重要性を認識するようになった。

支援概要

新たな開発品が出来る度に窓口相談。社内に担当者を選任した。先行技術調査方法、願書の作成方法等についても習得。

専門家（弁理士）支援も受け、特許2件、意匠2件、商標1件を出願し、現状、意匠2件と商標1件は権利化を達成した。



専門家活用



他機関連携

支援成果

「機内洗浄ノズル」は意匠権登録され、事業化にも成功。大手企業の工場にも採用された。また、「振動抑制ボルト」も特許を取得。メディアにも取り上げられ、注目を集めている。社内における知財権活用にも積極的に取り組んでおり、知財を意識した経営を進めている。



商標を活かしたブランディングの重要性と、知財戦略が企業価値向上に活かせることを知ることが出来ました。技術の向上と知財戦略を組み合わせることで、企業価値をさらに高められるよう、今後も取り組んでいきます。

企業コメント



経営者の知財活用にかかる思いと、それに応えようと努力する社員の皆さんの熱意は素晴らしいと思います。自社ブランド品の拡充を見据え、さらなる成長に知財を活用いただくことを期待しています。

窓口担当者コメント（氏名：中村宏之）

知財を武器に！多角的な知財活用支援

【INPIT 静岡県知財総合支援窓口】

企業情報

デザインパーツ株式会社

所在地	静岡県富士市		
ホームページ URL	http://www.designpart.co.jp/		
設立年	2007年	業種	製造業
従業員数	19人	資本金	3000万円

企業紹介

当社は金属加工会社で、アルミ、鉄、銅、チタン、マグネシウム等様々な素材で、MotoGP 車両用部品の様な非常に高度な技術を求められる部品から、普通乗用車やオートバイ、船舶、医療用機器、アルミダイカスト用部品、炭素繊維系金型まで幅広い分野の試作/製品加工をお請けしております。また、社員とお客様にとってのドリームファクトリーを目指し、その礎となる「技術の研鑽」「人間力の育成」に力を注いでおります。

相談のきっかけ

2018年に金融機関のご紹介でレーシングカート用パーツのご相談をいただきましたのを契機に知財の重要性を認識いただけました。

支援概要

その後、新たなる開発品が出来る度にご相談いただき、社内に担当者を選任しました。先行技術調査方法、願書の作成方法等についても学んでいただきました。専門家（弁理士）支援も受けていただき、特許2件、意匠2件、商標1件を出願し、現状、意匠2件と商標1件は権利化を達成されています。

支援成果

同社で意匠登録出願されたマシニングセンター用の「機内洗浄ノズル」は意匠権登録されると共に、事業化にも成功しました。高い技術力があつたからこそ実現できた製品であり、知財で保護し、すでに大手企業の工場にも採用されています。また、特許権を取得した「振動抑制ボルト」もメディアに取り上げられ、多くの企業の注目を集めています。社内での知財人材育成/営業ツールとしての知財権活用にも積極的に取り組まれており、知財を意識した経営を推進いただいています。



振動抑制ボルト

企業コメント

知財総合支援窓口を利用したことで、商標を活かしたブランディングの重要性と、知財戦略が企業価値向上に活かせることを知ることが出来ました。技術の向上と知財戦略を組み合わせることで、企業価値をさらに高められるよう、今後も取り組んでいこうと考えています。

窓口担当者コメント（氏名：中村宏之）



経営者の知財活用にかける思いと、それに応えようと努力する社員の皆さんの熱意は素晴らしいと思います。自社ブランド品の拡充を見据え、さらなる成長に知財を活用いただくことを期待しています。